

令和5年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

学校名(福島県立小高産業技術高等学校)

1. 取組についての評価

未来の福島を支えるテクノロジスト育成に向け、各学科に関連するテーマを掲げ企業等と連携し専門性を高めている。特に事業推進において、育成したい4つの資質能力4C+ふくしま創生に貢献できる力1Cを加えた、4C+1Cの力を掲げ学校全体で共有し取り組んでいる様子が窺える。さらには、4つの資質能力4Cをどのような学習や活動によって育もうとしているのか、各学科のテーマごとに明確にしておき、教員間の共通理解にも役立っているものと推察できる。その上で実践されてきたテーマについて生徒の変容が全ての項目において、初年度から最終年度にかけて伸びていることが検証されており、事業の成果を上げている。

2. 今後の課題と考えられること

・実際は十分に計画されていたものとは推察するが、最終年度の今回の発表では3年生の課題研究の実践発表が中心となり、この中で身に付ける知識・技術の報告であった。各学年においてどこまで、何を学ぶのか、スモールステップの目標を掲げ、その上で最終目標を掲げるような3年間のロードマップが示されると、今後一層共通理解されやすい事業となるのではないだろうか。

・次年度は学級減のため令和6年入学者のための新たな教育課程を編成しなくてはならないなど、大きな変化が求められるが、現時点では事業終了後の自走のための計画があまり見えてこない。事業がなくなっても企業・地域としっかり連携して産学官協働した仕組みが出来るように運営委員会等での検討をお願いしたい。